

地域づくりに関するアンケート調査
(愛知万博会場来場者・交通拠点利用者)
調 査 結 果

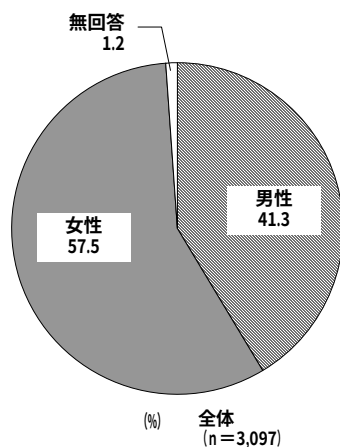
I 調査の概要

	愛知万博会場来場者アンケート	交通拠点利用者アンケート
(1) 調査対象	愛知万博を訪れている日本在住の日本人 および外国人	①東名高速道路上郷SA利用者 ②中部国際空港利用者 ③「みちフェスティバル（8／6開催）」来場者
(2) 調査方法	① 会場ゲートにおける出口調査 ② 会場内のパンフ等配布用ラックへの 配置 ①と②併用によるアンケート調査	調査員による配布、後日郵送で回収
(3) 調査期間	①出口調査： 平成17年6月30日(木)～7月2日(土) (3日間) ②ラック配置： 平成17年7月3日(日)～7月9日(土) (7日間)	①上郷SA：平成17年7月9日(土)、13日 (水)（2日間） ②中部国際空港：平成17年7月17日(日)及び 19日(火)（2日間） ③「みちフェスティバル」：平成17年8月6日(土)
(4) 配布・回収数	①配布件数 15,000件 ②配布件数 5,000件 回収数 3,097件（回収率15.5%）	①上郷SA（配布）5,000件、（回収）557件、回 収率11.1% ②中部国際空港（配布）3,000件、（回収）522 件、回収率17.4% ③「みちフェスティバル」（配布）2,000件（回 収）434件、回収率21.7% 合計（配布件数）10,000件（回収数）1,513件、 回収率15.1%
(5) 調査主体	国土交通省中部地方整備局	
(6) 調査委託機関	株式会社UFJ総合研究所	

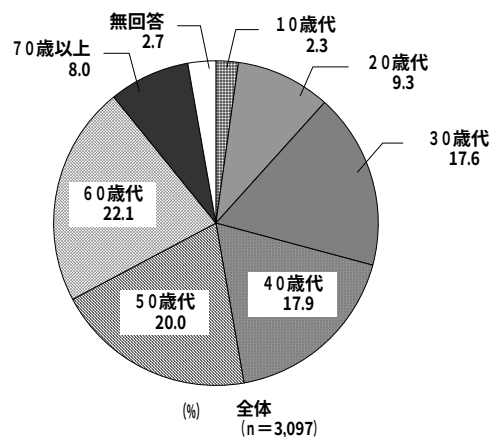
Ⅱ 調査結果（愛知万博会場来場者編）

アンケート対象の属性

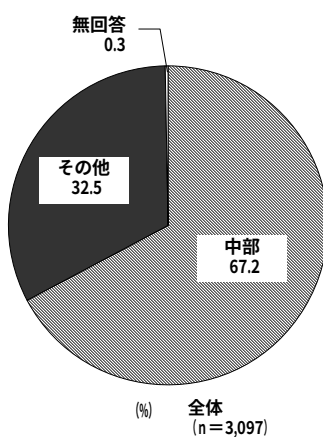
性別



年齢



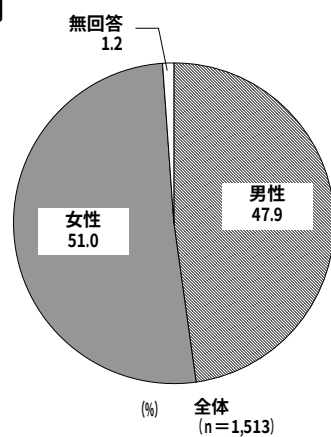
お住まい



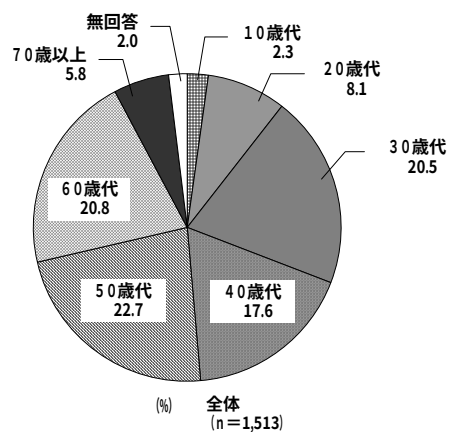
（交通拠点利用者編）

アンケート対象の属性

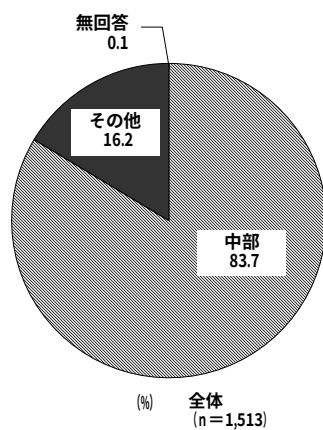
性別



年齢



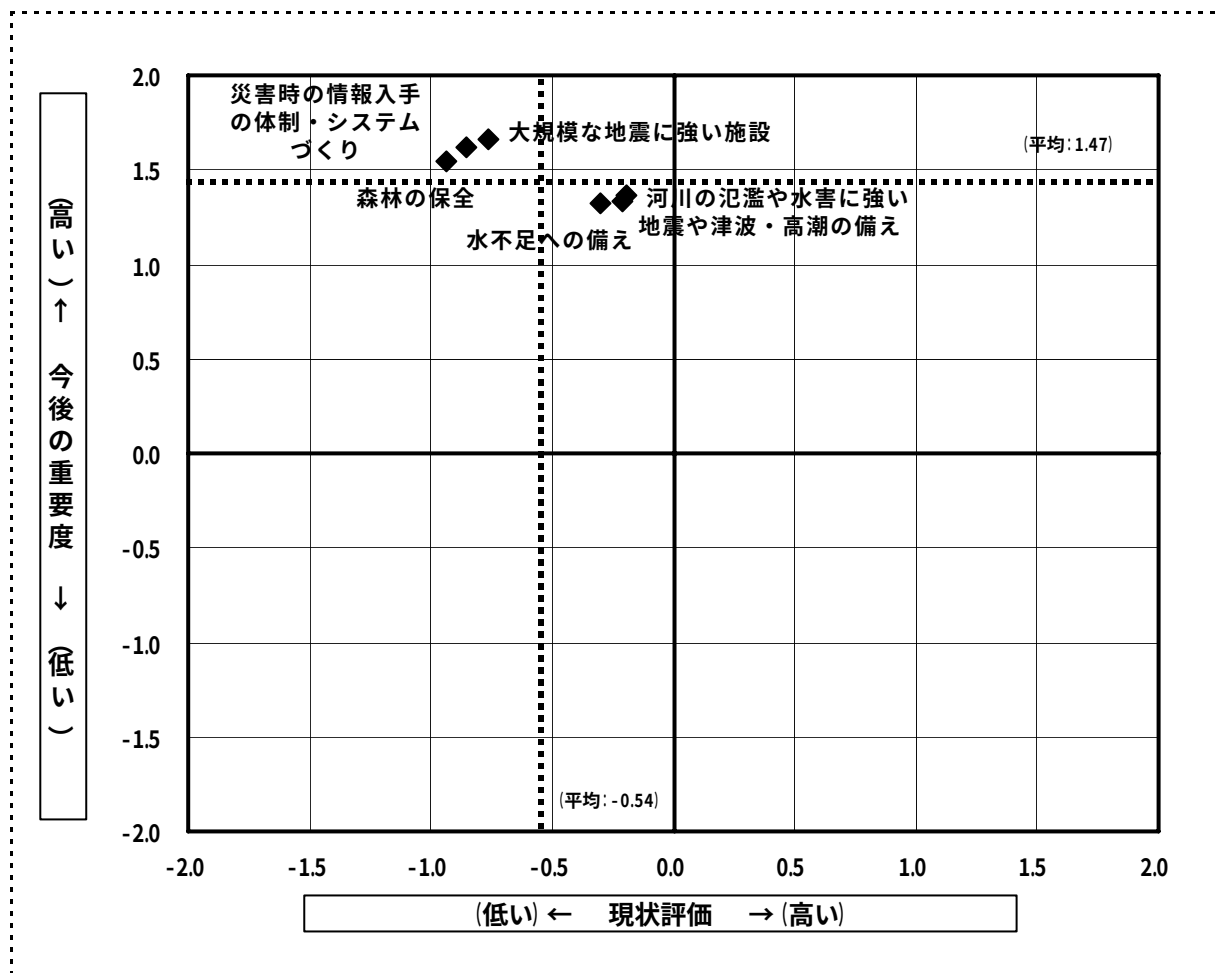
お住まい



安全・安心な国土づくりについて（中部地方）

- 「大規模な地震に強い施設」「災害時の情報体制・システムづくり」「森林の保全」については、「現状評価」が低く、「今後の重要度」が高くなっている。
- 「水不足への備え」について、「現状評価」がやや低く、「今後の重要度」が高くなっている。
- また、「河川の氾濫や水害に強い」「地震や津波・高潮の備え」についても「現状評価」がやや低く、「今後の重要度」が高い。

安全・安心な国土づくり （中部地方）



注＝「現状評価」と「今後の重要度」の散布図は、アンケート調査の回答を次のように点数換算し、平均値を算出して作成した。

【現状評価】「十分である」＝2点、「やや十分」＝1点、「やや不十分」＝－1点、「不十分である」＝－2点

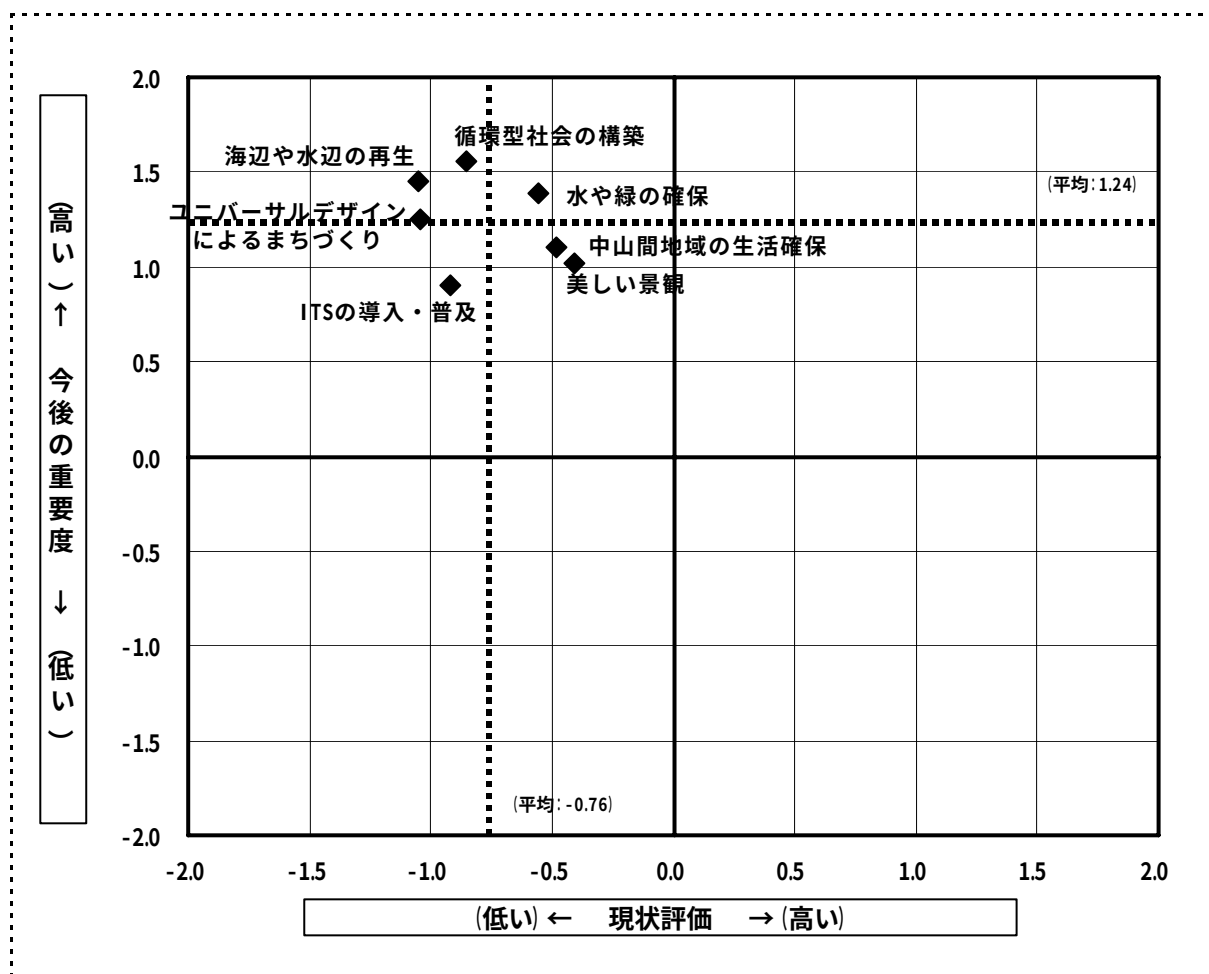
【今後の重要度】「重要」＝2点、「やや重要」＝1点、「あまり重要でない」＝－1点、「重要でない」＝－2点

以下同様

健康で美しい、人と環境にやさしい地域について （中部地方）

- 「循環型社会の構築」「海辺や水辺の再生」「ユニバーサルデザインによるまちづくり」「ITSの導入・普及」については、「現状評価」が低く、「今後の重要度」が高くなっている。
- 「水や緑の確保」「中山間地域の生活確保」「美しい景観」については、「現状評価」がやや低く、「今後の重要度」が高くなっている。

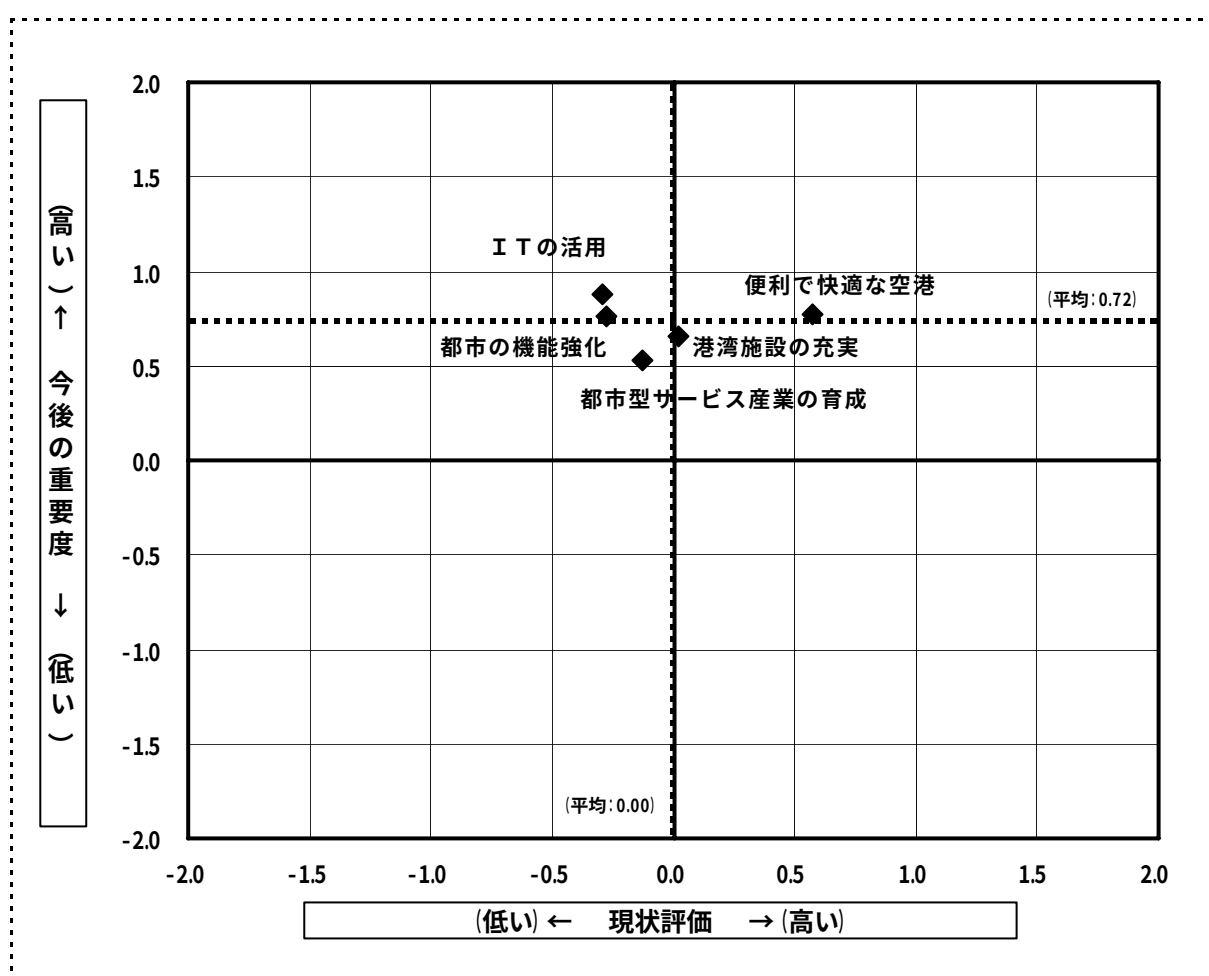
健康で美しい、人と環境にやさしい地域 （中部地方）



産業が国際的に高い競争力を有する地域について （中部地方）

- 「ITの活用」「都市の機能強化」については、「現状評価」がやや低く、「今後の重要度」が高くなっている。
- 「便利で快適な空港」については「現状評価」が高い中、「今後の重要度」も高い。
- その他の項目については「今後の重要度」が高くなっている。

産業が国際的に高い競争力を有する地域 （中部地方）



世界的な交流の中で新たな活気が育まれる地域について （中部地方）

- 「まち・観光地の魅力アップ」「外国人向け環境等の充実」については、「現状評価」が低く、「今後の重要度」が高くなっている。
- 「広域観光ネットワーク」「世界に名だたる観光地づくり」については「現状評価」が低く、「国際会議等の誘致・開催」についてはやや低くなっている。
- 「道路ネットワークの充実」については「現状評価」がやや高い中、「今後の重要度」が高くなっている。
- 「新しい鉄道路線」については「現状評価」がやや高い。

世界的な交流の中で新たな活気が育まれる地域 （中部地方）

